

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

### 法 規

〔1〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人は、総務省令で定める場合を除き、どのような手続をとった後でなければ、許可に係る無線設備を運用してはならないか。次のうちから選べ。

- 1 工事が完了した後、その運用について総務大臣の許可を受けた後
- 2 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められた後
- 3 総務大臣に運用開始の予定期日を届け出た後
- 4 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出た後

〔2〕 船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が別に告示するものを除く。）は、何分以内に完全に動作するものでなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 2分以内
- 2 5分以内
- 3 1分以内
- 4 4分以内

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の空中線電力50ワット以下の無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができる周波数の電波はどれか。次のうちから選べ。

- 1 25,010kHz以上
- 2 4,000kHzから25,010kHzまで
- 3 1,606.5kHzから4,000kHzまで
- 4 1,606.5kHz以下

〔4〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 運用の停止を命じた無線局を運用していると認めるとき。
- 2 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 4 無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。

〔5〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 再免許の拒否
- 2 通信の相手方又は通信事項の制限
- 3 電波の型式の制限
- 4 無線局の運用の停止

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 航海船橋の適宜な箇所
- 2 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
- 3 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 4 船内の適宜な箇所

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

### 法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 4 特定の相手方に対して行われる無線通信

〔8〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。
- 2 無線通信を行う場合においては、暗語を使用してはならない。
- 3 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
- 4 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。

〔9〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

- 1 どうぞ
- 2 OK
- 3 送信してください
- 4 了解

〔10〕 船舶局は、他の船舶局から無線設備の機器の調整のための通信を求められたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 一切の通信を中止して、これに応ずる。
- 2 直ちにこれに応ずる。
- 3 緊急通信に次ぐ優先順位をもってこれに応ずる。
- 4 支障のない限り、これに応ずる。

〔11〕 次の記述は、無線電話通信における遭難呼出しの方法について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

遭難呼出しは、次に掲げる事項を順次送信して行うものとする。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| (1) メーデー（又は「遭難」） | 3回                   |
| (2) こちらは         | 1回                   |
| (3) 遭難船舶局の呼出名称   | <input type="text"/> |

- 1 3回以下
- 2 3回
- 3 2回
- 4 1回

〔12〕 緊急通信は、どのような場合に行うか。次のうちから選べ。

- 1 地震、台風、洪水、津波、雪害、火災等が発生した場合
- 2 船舶又は航空機の航行に対する重大な危険を予防するために必要な場合
- 3 船舶又は航空機が重大かつ急迫の危険に陥るおそれがある場合その他緊急の事態が発生した場合
- 4 船舶又は航空機が重大かつ急迫の危険に陥った場合